兵庫県保険医協会神戸支部　研究会のご案内

コロナ禍における開業医の役割

～尼崎での在宅医療の実践にもふれて～

日　時　2022 年 1 月 20 日（木）17 時～19 時

会　場　兵庫県保険医協会５階会議室（JR･阪神元町駅東口を南へ徒歩８分）

講　師　医療法人社団裕和会理事長

尼崎市･長尾クリニック院長　**長尾 和宏** 先生

来場定員　40 人

参加費　無料

在宅医療のスペシャリストとして、また、映画化もされた「痛くない死に方」をはじめ数多く出版された著書はベストセラーとなり、自らのクリニックには全国から患者が訪れる長尾和宏医師をお招きします。

長尾先生は、新型コロナウイルス感染拡大のなか、地域における開業医の役割について様々なメディアを通じて問題提起、積極的に提言を続けておられます。講演では「コロナ禍における開業医の役割」と題して、尼崎での取り組みとともに、幅広い知見もふまえて、お話いただきます。

会員の先生方はじめ、スタッフの皆さまのご参加もお待ちしております。

長尾 和宏（ながお かずひろ）

東京医大卒業後、大阪大第二内科入局。平成 7 年、尼崎市で「長尾クリニック」を開業。 外来診療から在宅医療まで“人を診る”総合診療を目指す。医学書「スーパー総合医叢書」全 10 巻の総編集、「平穏死・10 の条件」、「薬のやめどき」、「痛くない死に方」はいずれもベストセラー、「糖尿病と膵臓がん」「男の孤独死」、「痛い在宅医」は発売即重版。小説「安楽死特区」は、即重版しアマゾン１位。最新作は「ひとりも、死なさへん」。著書「痛い在宅医」は、令和３年春に映画「痛くない死に方」として公開。併せてドキュメンタリー映画の「けったいな町医者」も公開。日本慢性期医療協会 理事、日本尊厳死協会 副理事長、日本ホスピス在宅ケア研究会理事。関西国際大学客員教授。医学博士。

＊お問い合わせは TEL 078-393-1807 神戸支部担当　島・小西まで

－－【神戸支部研究会参加申し込み】FAX 返信：078-393-1820 －－

参加申し込み

地区＿＿＿＿＿＿　医療機関・施設名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

代表者お名前＿＿＿＿＿＿　参加人数＿＿人　TEL＿＿＿＿＿＿